

えられる図書館サービスに向けて努力します。

問 朝の読書運動の取り組み状況を伺う。

教育長 「朝の読書」は普及しつつあります。全校一斉の読書活動は、市内の12小中学校のうち、11校が実施しています。そのほとんどが始業前に行われています。また、読書を促す方策の1つとして、小学校では「読み聞かせ」に取り組んでいます。



少子化対策

問 笹引小学校の児童クラブの設置はいかがか。

市長 未設置学区である笹引学区は、笹引小学校の校舎内に平成19年6月開設に向け、準備を進めているところです。

問 子どもの居場所作りとして、「放課後子ども教室」

が来年度から実施されるが、本市としての取り組みはいかがか。

教育長 すべての子どもたちを対象として、安全・安心な子ども活動拠点を設け、コーディネートとして事業の円滑な実施を図るため、ボランティアの協力など、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動・地域住民との交流活動等の取り組みを推進し、各学校の空き教室等を利用して、すべての小学校区で実施するなどの方針が示されています。

教育委員会としては、将来の実施に向けて、学校及び関係機関と協議したいと考えております。



やちまた21

押尾 巖
小澤 定明
会嶋 誠治
山本 正美
加藤 弘

代表 質問 小澤 定明

新任期の市政運営の抱負

問 これからの本市の財政運営にどのように取り組んでいくのか。

市長 引き続き節減合理化を推進するという基本姿勢に立ち、歳入面では市税等の確保、受益者負担の適正化の推進、財産の有効活用、その他、新規事業を実施する場合にももちろんのこと、既存事業でも事業内容の見直しなどにより、補助採択を受けられる場合は、積極的に国・県補助制度の活用を図る等、財源の確保に努めたい。

また、歳出面は、適正な市民サービスの水準を維持することを前提に、今般、市長選挙で掲げた政策及び総合計画を踏まえての施策の徹底に努め、効率的な行財政運営を実施していきたい。

問 八街駅北側土地区画整理事業の完成と地区内に予定される文化センター等の建設をどのように進めていくのか。

市長 文化的施設の機能、規模、施設の構成などからなる建設基本計画の策定及び建設費用、維持管理費用など財政面の課題につきまして、区画整理事業の進捗状況や排水設備の整備状況なども視野に入れながら、さらに検討を進めたい。

問 通勤通学の利便性向上のための快速電車等の増発や榎戸駅東口新設を具体的にどのように実現していくのか。

市長 山武市、酒々井町と連携を図りながら、早期に実現できるようJR側と引き続き協議を進めたいと考えている。

また、榎戸駅東口の開設など利用者の利便性向上のため、関係各方面と連携のもと、引き続きJR側への交渉、要望をより積極的に進めたい。

子育て支援

問 医療費助成、児童手当保育料を含めた「手当の充実」に今後どのように計画的に取り組んでいくのか。

市長 現行の保育園の保育料は、同一世帯から複数の入所児童がいる場合には、2人目が2分の1、3人目が10分の1減額した保育料とし、子どもを育てる親等を支援している。

乳幼児医療費は、来年度から通院の助成対象年齢を1歳引き上げて、3歳未満児から4歳未満児に改正を予定している。



小学校登校の様子

防犯体制の充実

問 児童・生徒の登下校を守る具体的な取り組みはどうか。また、スクールバスを運行して長距離通学の児童・生徒への安全性・利便性を図るべきと考えがどうか。

教育長 登下校を守る取り組みは、通学路の安全点検、各学校区を中心とする危険箇所の確認と防犯マップの作成、スクールガードリーダーによる学校訪問、地域で子どもを守るための学校安全ボランティア(スクールガード)活動の充実、各学校における防犯教室の開催、防災無線の活用等を実施している。